

在宅医療の歴史（南九州病院）

- 1 昭和50年頃からALS患者訪問をボランティアで実施.
- 2 昭和58年、在宅人工呼吸管理開始
- 3 平成3年、南九州医療福祉研究会設立.
- 4 平成5年、「国立療養所における在宅医療推進に関する研究班」が発足。私が班長で当院が事務局.
- 5 平成6年より、病院の事業として計画的で継続的な在宅医療の実施。（規約・交通手段・緊急時の体制整備）
- 6 平成8年、鹿児島ALS医療福祉ネットワーク発足.
- 7 平成9年、難病支援検討会 & 学習会（調整会議）.
- 8 平成12年、鹿児島県重症難病医療ネットワーク協議会

訪問介護員養成研修

(名)

当院の在宅ケア

- 1 実務
- 2 教育研修
- 3 研究

	1 級 課 程		2 級 課 程		
	申込者数	受講者数		申込者数	受講者数
オリジナル	310	140	オリジナル	1,983	912
県委託	328	120	県委託	552	350
看護師等免除交付	H13年度	41	1,221		
	H14年度	452			
	H15年度	728			
計	638	1,481	計	2,535	1,262

ヘルパー養成研修

難病患者等ホームヘルパー養成研修

(名)

平成7年より平成20年まで
1級課程1884人、2級課程
1627人、合わせて3511人の
ヘルパー養成実施。

また難病患者等ヘルパー養
成研修では、2027人が受講。

	難病基礎課程Ⅱ	難病基礎課程Ⅰ		
		前期	後期	計
H12年度	51	73		
H13年度	68	前期	98	217
		後期	119	
H14年度	101	前期	175	324
		後期	149	
H15年度	109	前期	175	288
		後期	113	
計	329	902		

吸引問題を考える機会 になった患者さん

ご主人が一人で奥さんの介護にあたっていた。夜間も吸引の度に起きていた。眠れる時間は訪問看護の2時間だけという日が続いた。せめてヘルパーに夜間の吸引をお願いできないものか……

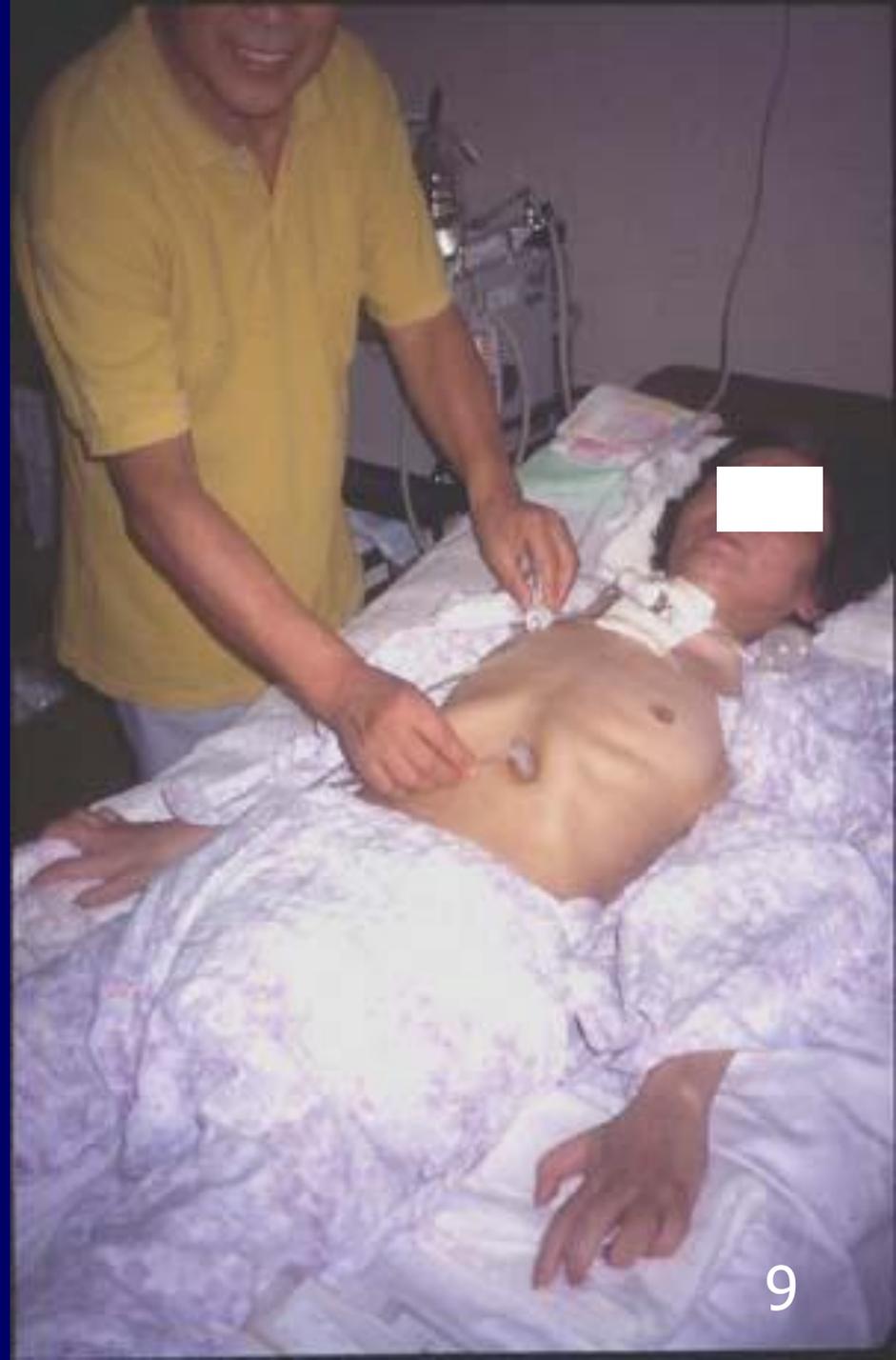
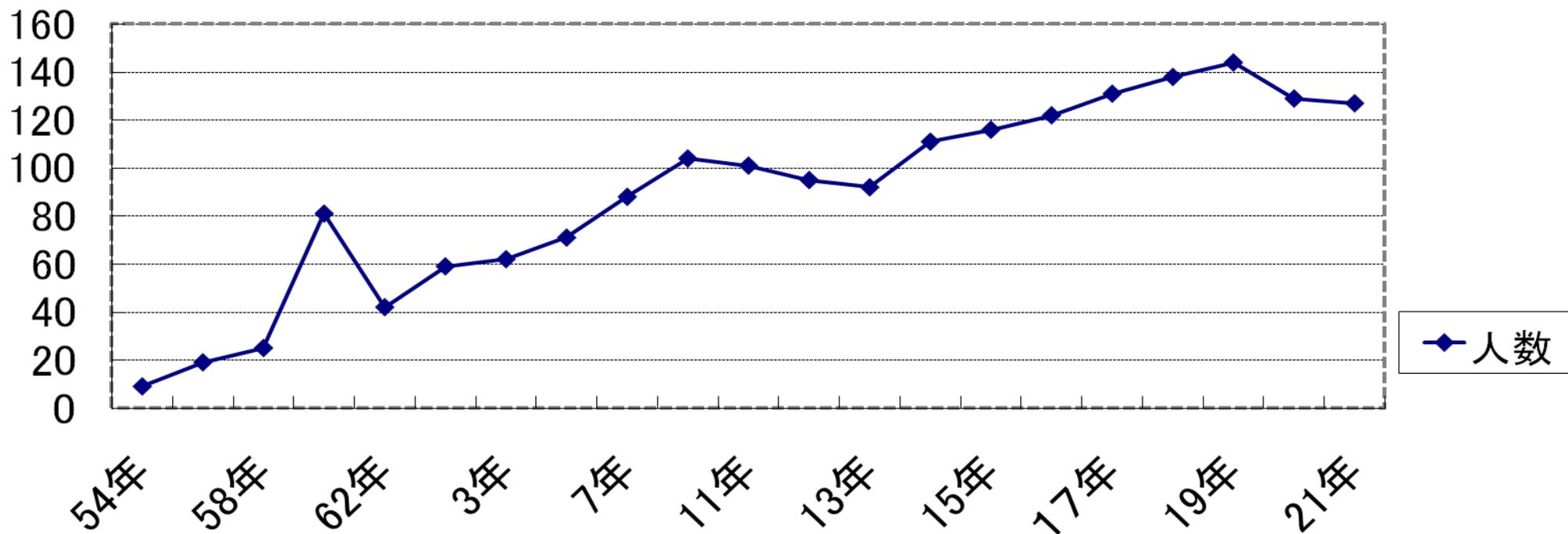


図1 ALS患者特定疾患受給者数



鹿児島県患者数の推移(平成21年12月末日現在)

- 1) 昭和49年に2人の認定があり、平成8~13年は100人前後
- 2) その後、微増し平成19年度が144人、平成21年12月で127人

人工呼吸器の使用状況と主な療養場所

(平成21年12月末)

	在宅	入院	施設 入所	合計(%)
人工呼吸器使用	24(18.9)	41(32.3)	4(3.1)	69(52.4)
気管切開のみ	8(6.3)	2(1.6)	0	10(7.8)
その他	30(23.6)	12(9.5)	6(4.7)	48(39.8)
合計	62(48.8)	55(43.4)	10(7.8)	127(100)